

事業所名

児童発達支援Hug-reen

支援プログラム

作成日

令和7年 1月 1日

法人（事業所）理念		利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適應することができるよう、事業所において、適切かつ効果的な支援を行います。		
支援方針		子どもたち一人ひとりの心に寄り添い、子どもたちが自分らしくいられる環境を目指します楽しく学べるプログラムを提供し、遊びと学びが交差する空間のなかで、子どもたち一人ひとりが心を躍らせる経験や感覚を大切にした療育を行います		
営業時間		9時0分から18時0分まで	送迎実施の有無	あり○ なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	基本的生活習慣が身につくようにしていきます。来所持の手洗い、洋服が汚れた際の着替え、トイレでの排泄等日常の生活動作を習得できるように支援します。		
	運動・感覚	バランスストーン・バランスボールなど様々な遊具や、運動を通じて、姿勢の保持や上肢・下肢の動作の改善を行います。また、音楽に合わせて体操・リトミック等も行います。感覚面では、大画面タッチパネル教材を用いて目と手の協応を練習していきます。		
	認知・行動	いろいろなものの概念を知ることができるようにします。大きい・小さい・高い・低い・たくさん・少ない等。行動面では、絵や写真を使いその日に行う活動をわかりやすく提示していきます。		
	言語 コミュニケーション	個別療育の中では、単語のインプットを中心に行います。日常生活に必要な動詞や名詞をインプットし、実際にどの場面で使うのかを知り、使うことができるようにしていきます。コミュニケーション面では、集団療育の中でいろいろな遊びを通じて相手にことばを伝える練習を行います。		
	人間関係 社会性	カードゲームなど、ルールが必要な遊びを、2から3人の小集団で行い社会性をはぐくみます。勝ち負けにこだわりすぎないよう楽しく参加できるように支援していきます。		
家族支援	ご家族の困りごと（兄弟児についての相談も含む）は、いつでも話していただけるような関係の構築を目指します。月一回のペアレントトレーニングを開催し、同年代のお子さんを持つご家族同士のつながりも重視していきます。	移行支援	新しい環境で、不安や困りが少しでも軽減するように、保育園・幼稚園から修学、または転園・就学先の学校等との連携をとって行きます。利用児童がより自分らしく新生活を送ることができるように支援します。	
地域支援・地域連携	地域の福祉施設への訪問や地域のお祭りの参加など、地域社会とのかかわりを多く持ち、地域連携が取れるように取り組みます。	職員の質の向上	月1回の研修計画を実行し、知識量を増やしていきます。一人一人のお子さんと向き合い、将来の自立に向けて支援の幅を広げていきます。	
主な行事等	お正月遊び、雪遊び、お花見散歩、綿菓子づくり、たこ焼きづくり、買い物ごっこ等			